

第42回土木史研究発表会

1. 主催 土木学会(担当:土木史委員会 <http://www.jsce.or.jp/committee/hsce/index.htm>)

2. 期日 2022(令和4)年6月18日(土)・19日(日)

3. 会場 (ハイブリッド開催)

【A. 土木学会】: 会場での対面参加, 定員30名(発表者を除く)

【B. オンライン】: Zoomによるオンライン参加, 定員500名(発表者を除く)

※ コロナウイルス感染症対策のため, 会場にお越しいただく方にも必ず事前の参加申込(登録)をしていただきます。事前申込がない場合は, 当日, 入場をお断りさせていただきますので, 必ず事前に申込みをお済ませください。

※ 会場での対面参加【A】は定員(30名)に達し次第, 締め切らせて頂きます。

4. 参加方法

① 『講演集』購入参加(事前配布)【A・Bとも】4,500円 (参加費は無料となります。)

※ 申込締切 6月12日(日)【A・Bとも】講演集が発表会前に必ず到着するためには, この期日までの事前申し込みをお願いいたします。

6月13日(月)以降 【A】講演集は当日, 会場でお渡し, 6月16日(木)まで受付します。

【B】講演集が事前に到着しない可能性のある参加申込みとして, 6月17日(金)まで受付します。

※ 掲載論文の筆頭著者および司会・コメンテーターの方には講演集1冊が無料で配布となり, 参加費も無料となります。

② 『講演集』なしで参加【A・Bとも】一般: **3,000円**, 学生: **無料** (講演論文はpdfで閲覧を予定)

※ 申込締切 【A】6月16日(木), 【B】6月17日(金)

③ シンポジウムのみ参加【Bのみ】**無料**

※ 申込締切 【B】6月17日(金)

【①②③共通】の申込み窓口「本部主催行事の参加申込」 <http://www.jsce.or.jp/event/active/information.asp>

※ 申込区分が多くございますので(5区分), 申込時に間違えないようご注意ください。

5. シンポジウム

◇令和4年度土木史研究発表会シンポジウム「高橋裕と松浦茂樹, その功績と横顔」(土木学会主催)

1) 日時: 2022(令和4)年6月18日(土) 15:00~17:30

2) 会場: (ハイブリッド開催) 【A】研究発表会に引き続き対面参加

【B】研究発表会参加者: 引き続き別のURLにてオンライン参加

シンポジウムのみ参加者: オンライン参加(「参加URL」をお送りします)

3) 参加費: 無料

6. プログラム

◆6月18日(土)

発表15分／質疑10分

時間	対面(ハイブリッド)	時間	オンライン
10:15	開会挨拶 土木史委員会委員長 知野泰明		
10:30	【土木一般】 司会:石橋 知也(長崎大学) コメンテーター:福井 恒明(法政大学)	10:30	【土木構造物の評価と利活用】 司会:岩田圭佑(国立研究開発法人土木研究所寒地土木研究所) コメンテーター:知野 泰明(日本大学)
	1 鬼と土木の民俗学 ―鬼が築いた石段にみる土木技術者―★		9 中国華南潮汕鉄道の辛亥革命時保護問題と対華二十一カ条要求における関わり★
	1 中尾聡史(京都大学大学院)・森栗茂一・藤井聡	69	阿部成久(NPO法人愛媛県建設技術支援センター)
	2 土木遺産ツアーにおける土木コミュニケーションに関する研究(その5)★	10	インフラツーリズムにおける土木史的価値に関する研究(2)
11	原口征人(一般社団法人北海道開発技術センター)・今尚之・石川成昭	75	武市修一(徳島県土地開発公社)
	3 旧都市計画法初期における都市計画基礎調査に関する研究 ―都市計画名古屋地方委員会を中心に―	11	埼玉県飯能市「正丸峠」の成立・変遷と歴史的土木構造物の残存状況に関する調査★
13	真田純子(東京工業大学)・関洗	83	吉川慎平(自由学園最高学部(大学部))・小田幸子
	4 鉄道技師大村卓一に見る技術者倫理に関する一考察	12	海軍技師・眞島健三郎
12:10	25 高津俊司(日本コンサルタンツ株式会社)	12:10	87 福島啓一
13:00	【交通・物流】 司会:永村 景子(日本大学) コメンテーター:上島 顕司(みなと総合研究財団)	13:00	【石垣の構造・維持管理および関連の人物史】 司会:原口征人(一般社団法人北海道開発技術センター) コメンテーター:樋口 輝久(岡山大学)
	5 東寿とその港湾運営構想 ―戦後港湾行政を理解する手がかりとして―		13 熊本城の被災石垣の形状計測と動態観測
31	稲吉晃(新潟大学)	99	山口晃佑(長崎大学大学院)・杉本知史・石塚洋一
	6 東京築港の進展、三次に及ぶ東京港修築計画	14	城郭石垣はばき補強による力学的安定機能の確認
37	手島道人(NPO法人首都東京みなと創り研究会会員)・寺中啓一郎	105	福田光治(大成ジオテック)
	7 近代以降の菊池川における船着場空間の変化に関する研究	15	豊後土工の誕生 ―炭鉱夫・石工からトンネル坑夫へ―★
49	小川連太郎(熊本大学大学院)・田中尚人	111	谷川竜一(金沢大学)
	8 名古屋高速道路の景観設計思想	16	直江石堤(谷地河原堤防)にみる米沢藩士による普請維持管理★
14:40	57 森田遼(鹿島建設株式会社)・福井恒明	14:40	123 知野泰明(日本大学)・後藤光亀
15:00	シンポジウム／講演会		
	令和4年度土木史研究発表会シンポジウム「高橋裕と松浦茂樹、その功績と横顔」		
	<第1部> 開催挨拶とご功績の紹介 中村 晋一郎氏(名古屋大学大学院工学研究科土木工学専攻 准教授)		
	<第2部> 基調講演①「高橋先生のご功績と横顔」 大熊孝氏(新潟大学名誉教授, 大熊河川研究室, NPO新潟水辺の会)		
	基調講演②「松浦先生のご功績と横顔」 島谷幸宏氏(熊本県立大 特別教授, 大正大学 特命教授, 九州大学 名誉教授, 土木史委員会 災害に関する土木史調査研究小委員会 委員長)		
	<第3部> パネルディスカッション「高橋裕と松浦茂樹、その功績と横顔」		
	[登壇者] 大熊孝氏 島谷 幸宏氏		
	[司 会] 佐々木 葉氏(早稲田大学教授／土木史委員会戦後土木施設の歴史・文化的価値に関する 調査小委員会 委員長)		
17:30			

◆6月19日(日)

発表15分／質疑10分

時間	対面(ハイブリッド)
9:00	<p>【災害1】 司会:林 倫子(関西大学) コメンテーター:岡田 一天(プランニングネットワーク)</p> <p>17 蘭領東インドのバタヴィアにおける19世紀後半の雨季の洪水履歴★</p> <p>133 笹本浩子</p> <p>18 「河防一覽」に見る藩季馴の治水技術</p> <p>143 寺村淳(第一工科大学)・王仕坤</p> <p>19 大正3年桜島噴火への対応について ―中央政府の対応と国内外の義援活動を中心として―</p> <p>10:15 147 土田宏成(聖心女子大学)</p>
10:30	<p>【災害2】 司会:中村 晋一郎(名古屋大学) コメンテーター:星野 裕司(熊本大学)</p> <p>20 水害履歴を踏まえた水防建築「段蔵」の減災効果の検証 ―高槻市南部の低地を対象として―★</p> <p>155 小西佑典(関西大学大学院)・林倫子</p> <p>21 『徳川実紀』にみる江戸幕府下の 治山治水政策に関する一考察 ―「山川掟」の記述を対象として―★</p> <p>163 西山孝樹(日本大学)・藤田龍之・天野光一</p> <p>22 都市公園の計画・設計における防災機能の変遷に関する基礎的研究★</p> <p>11:45 173 近藤壯一郎(日本大学大学院)・大沢昌玄</p>
12:45	<p>【橋梁1】 司会:出村 嘉史(岐阜大学) コメンテーター:五十畑 弘(道路文化研究所)</p> <p>23 明治期の英国人鉄道技師C.A.W.Pownallによる鉄道橋の設計に関する資料の紹介 ―旧掛斐川橋梁に着目して―</p> <p>177 豊永早織(株式会社文化財保存計画協会)・崔静妍</p> <p>24 明治期における鉄道橋が輸入された要因★</p> <p>189 平井節生(セントラルコンサルタント株式会社)・羽藤英二</p> <p>25 花峯橋を対象とした土木遺産の保存における3次元モデルの利用可能性</p> <p>14:00 199 本田泰寛(第一工科大学)・佐藤藍羅・小林一郎</p>
14:15	<p>【橋梁2】 司会:本田 泰寛(第一工科大学) コメンテーター:高橋 良和(京都大学)</p> <p>26 重要文化財旧魚梁瀬森林鉄道施設犬吠橋の構造的特徴に関する考察</p> <p>203 崔静妍(株式会社文化財保存計画協会)・岡建司・益田里佳</p> <p>27 北海道で普及した「木コンクリート橋」の技術的特徴について</p> <p>209 岩田圭佑(国立研究開発法人土木研究所寒地土木研究所)・原口征人・榎本碧・今尚之</p> <p>28 絵巻物に描かれた橋に関する考察</p> <p>15:30 215 松村博</p>
15:40	<p>若手優秀講演賞表彰 土木史委員会発表小委員会</p>
15:50	<p>総括および閉会挨拶 土木史委員会発表小委員会委員長 田中尚人</p>
16:00	

時間	オンライン
	<p>【橋梁・景観に関する思想や変化】 司会:岩本 一将(京都工芸繊維大学) 副司会:佐々木 葉(早稲田大学)</p> <p>29 阪神高速道路における景観設計思想及び景観評価に関する史的研究</p> <p>223 竹本和生(中央コンサルタンツ株式会社)・岡田昌彰・中野雄太</p> <p>30 画家が見た戦後長崎の景観とその変化★</p> <p>227 入江清佳(長崎市役所文化観光部長崎学研究所)・石橋知也</p> <p>31 翁橋の煉瓦舗装★</p> <p>235 樋口輝久(岡山大学学術研究院)・小西伸彦</p>
	<p>【河川・砂防】 司会:知花 武佳(東京大学) コメンテーター:二井 昭佳(国土館大学)</p> <p>32 大河津分水の理解度向上の取り組み</p> <p>239 樋口勲(株式会社エコロジーサイエンス)・丸山友之</p> <p>33 近世川除絵図と明治初頭の河川分間図</p> <p>243 山浦直人(株式会社千代田コンサルタント)</p> <p>34 戦後土木施設として歴史・文化的価値の高い砂防施設の調査とその評価について</p> <p>249 澤陽之(アジア航測株式会社)・小川紀一郎・岡本敦</p>